

埼玉親善大使レポート

julio de 2018

小林 幹

メキシコでの生活は早いもので、ついに一番最後のコースが終わり、早期帰国の方々は帰国の準備を始め、自分たちは残りの1ヶ月をどのように有意義に過ごすか考えているところです。また、来月に選挙を控えており、メキシコの治安は悪くなっています。あと1ヶ月ですが気を抜かずに過ごしたいと思っています。今回はCEPE（メキシコ国立自治大学付属学校）での勉強でやってよかったこととやればよかったことについて書きたいと思います。

CEPE での生活

まず皆が口を揃えていうことはメキシコに渡航する前からもっとスペイン語を勉強しておくべきだったということ。文法や単語を知ってからメキシコに来るとそうでないの

とでは、メキシコでの生活の楽しさやテスト、奨学金の心配に大きな違いがあります。自分のしている後悔は、スペイン語能力が低いうちに文法や、読解、会話といったスペイン語に関する授業を受けて、後半にスペイン語がわかってきてから文化的な授業を取るべきだったということです。また、初めのうちからたくさんスペイン語を話してたくさん間違えることが重要だと思いました。レベルが上がるにつれて、スペイン語ができると思われ、プレッシャーがかかり、より間違えないようにしないと、と考えてしまい話しづらくなります。机上の勉強は日本でもできます。スペイン語の習得に効果的なのは、メキシコで現地人と話すことだと思います。やはり、たくさん話している研修生の方がスラスラと綺麗に話せていると思います。しかし、一番効果的なのは、間違いなくメキシコ人の恋人を作ることです(笑)。次の埼玉県推薦枠研修生の方に役立てば幸いです。また、毎年、メキシコに来る前に研修生に渡される生活情報誌、住宅情報誌ですが、今

年はとても見やすく、必要な情報が詰め込まれているのでぜひ活用してみてください。